

東明

令和5年7月3日発行
男鹿市立男鹿東中学校
校長 鳥井 雅則
第3号



様々な学び方がある中、「学校で学ぶよさ」って何？

早いもので、新年度が始まって既に3か月が経過しました。生徒は、統合記念大運動会の成功や市郡中総体での活躍もあり、毎日の学校生活や学習に自信をもって取り組んでいるところです。また、前期の中間テストも無事終え、ほっと一息ついている頃でもあると思います。

さて、現在では様々な学びの形が議論されている中、今号は「学校で学ぶよさ」について考えてみます。

第一に、家庭で一人で勉強するよりも、学校の方がより多くの体験が可能です。学校には体育館や理科室などの専門の特別教室があり、教材が多くそろっています。その教材を活用して、教えてくれる先生がいて、一緒に勉強する仲間がいて、学習を楽しく分かりやすく進めることができます。

第二に、人との関わり方を学ぶことができます。世の中には自分と考え方やスタイルが違う人がたくさんいます。学校で様々な人と出会う経験は将来的に多くの人と共に生きていく力となります。そうすることで、様々な見方や考え方を知り、より自分の世界を広げていくことができます。

第三に、自分の個性を確かめることができます。学校では自分がしたいことだけでなく、やらなければならないことも多くあります。自分からは今までやろうとしなかった様々な活動や学習を通して、自分の新たな一面を発見したり、自分がどんな分野に向いていて何をやりたいかなどに気付いたりすることができます。

第四に、社会で自分らしく生きていく力を付けていくことができます。係や委員会、行事などの様々な活動で、自分の責任を果たす、創意工夫して物事に取り組む、全力を尽くす、周りの人と協力するなどを通して、自信を付けることができます。その経験によって、これからの自分の人生を切り拓く力が付きます。

現在は、様々な方法で学ぶことができ、決して学校だけが学ぶ場所とは限りません。ICTやネットを通じて、様々な学習方法を選択することもできます。それでも、学校で学ぶことには知識を得るだけではないよさがあると、ぜひ皆さんにも実感してほしいと思います。

東中生 躍動！ 市郡中総体

6/17・18・20



大会前の激励会で、「個人やチームで、それぞれの目標は少しずつ違うけれども、これまで練習してきた走りやプレーを全て出し切って悔いのない大会にしてください」と選手にエールを送りましたが、東中生は大変よく頑張りました。これまで関わり、支えてくださったご家族、監督、コーチ、地域、全ての方々に感謝します。裏面に大会結果を載せました。全県大会への切符を獲得した選手の皆さん、おめでとうございます。全県大会まであと2週間ほど、まだたっぷり練習できます。男鹿潟上南秋の代表として、県大会には総勢45名が参加します。仲間全員で、暑い、熱い夏にしてきてください。

特に3年生にとっては中学校部活動の集大成の大会でもありました。全県大会に出場する人以外は、これで部活動引退となります。今日まで、優しく後輩をリードしてくれたことは決して忘れません。後輩たちは先輩たちから技術だけでなく、勇気や物事への取り組み方など今後の人生で大切なことをしっかり受け継いだと思います。次は「受験」という大きな壁に向かって、それぞれの目指す進路での勝利を目指して努力することを期待します。1、2年生は、9月に行われる市郡新人戦に向けて、練習を頑張してほしいと思います。また、吹奏楽部が吹奏楽コンクール中央地区大会小編成の部に出場します。吹奏楽部の皆さんは、部員みんなの絆と音を紡いで練習の成果を存分に発揮してください。



学校の花壇が色鮮やかな花で埋めつくされています。サルビア、マリーゴールド、ペチュニア、インパチェンス、黄花コスモス…。それぞれの班ごとにデザインやネーミングを工夫して看板を立て、植栽しました。現在は水やりや草取りの世話を毎日しています。ぜひご覧になってください。